

産業厚生常任委員会会議録

- 1 日 時 平成27年12月11日(金)
14時40分開会 15時01分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長 : 奥秋康子
副委員長 : 原 紀夫
委 員 : 桜井崇裕、佐藤幸一、安田 薫、西山輝和
議 長 : 加来良明
- 4 事務局 事務局長 : 佐藤秀美、係長 : 渋谷直親
- 5 説明員
- 6 議 件
(1) 所管事務調査の申し出について

(2) その他
7. 会議内容 別紙のとおり

(1) 所管事務調査の申出について

委員長：(奥秋康子) ただいまから、産業厚生常任委員会を開催する。先日に引き続いて所管事務調査の申し出についての会議を行う。前は案を色々出してもらったがまとまらなかったのだから今日はまとめたいと思う。どなたか何かあるか。

桜井委員：何をするかを決める前に、年末年始を避けた方がいいのではなどの調整の意見があった。それに基づいて町内外での実施等についての制限を決めた方がいいのではないかな。

委員長：そういうことを含めて意見を持ってきていると思うので意見があれば挙手願う。

原委員：今言われているのは、町内外等を先に絞った方がいいのではないかなということか。

桜井委員：そう。

原委員：桜井委員の言うとおりに思う。次回の時期を考えて年末年始もあり、私から一つ提案をさせていただきたい。今回の一般質問の中でも4名から質問が出ていることもあり、執行からの答弁でも今まで知り得ていなかった事案もあった。そこで町長も介護施設の関係で、私からの質問の答弁でも御影に介護施設を作るとは明確に答弁をしている。その他の事案についても消防庁舎跡地の活用も今後検討したいとのことだった。それらを含めて清水町の地域包括支援センターの現状と今後の問題点についてということで担当課からよりきめ細かい現状での考えについて、今月や来月ではなく2月に話を聞いてみてはどうかと思う。その調査は後々の施設建設の参考になるのではないかなと思う。

委員長：他にはないか。

(ありませんの声あり)

委員長：地域包括支援センターの現状と課題ということで提案があったが、今後の高齢者住宅の建設ということで消防庁舎跡についても現状では課題はあると思うが、それについての調査をしたいとのことだった。これ一つでよいか。私からの提案はこれからの冬道における道路環境の整備について、高齢者や子どもたちの安全確保はどうなっているのか気になっている。現在までは大きな事故はないが危険な箇所はある。昨年くらいから街灯がLED電球に変わってきているが、夜の歩行に対しての安全確保や防犯についても関心がある。そういったことから町の防犯対策などもどうか。防犯と言っても幅は広いが、そういうことを調査することも産業厚生常任委員会の役割ではないか。町内での犯罪については被害が大きなものは聞いていないが空き巣や詐欺なども問題になっている。そういった対策もどうなっているのかも関心があるが、必要はないか。

原委員：私が出した案の他に出示されたものについて、別の事案として雪の時期でもあり、早々に対策が必要な事案でもある。そうすると二本立ての方法もあるし、私が言ったものを除くこともできると思うが、皆さんに諮ってはどうか。

委員長：そういう話だが、私が提案したのは冬道やこれからの冬期間についての除雪状況を一度確認してはどうかと思ったが、意見はあるか。遠慮しないで意見を出してもらいたい。

原委員：除雪についてはちゃんとしているとは思っていない。先日交通事故に遭いそうな人を見た。それは除雪をしていないために、わだちができていて逸脱した時に対向車と接触しそうなものだった。私の町内会でのことだったが、担当課へ話をしたら、すぐに車が3台来てわだちを削っていった。他の方からも言われていたが、全くちゃんとはやっていない印象はある。そのことについては別途方法があると思う。以前除雪について町が除雪機を購入して町内会へ貸し出しするということがあり、今回1台だけ購入して社会福祉協議会へ貸し出しをして、町内会での有効活用をすると聞いたことがある。そのレベルでの話なので、前にも角川議員が歩道の除雪がまったくないという質問をしたことがある。一度回ってみてもいいと思うが、町の歩道の除雪は全然だめな状態だ。つるつる路面になった時に高齢者や子どもが転倒して、車と接触するなどの事故が起きないとは限らない。御影も同様に思う。担当課に問題意識を持たせるためにも、そういう事は必要だろうと思っている。

奥秋委員：私もそう思っている。他の委員の意見は、原委員からは前向きな意見をもらったが、

桜井委員：除雪に関しては毎年のように苦情が出ている。先日降った雪でも帯広市では何百件も苦情があったようだ。所管の中で一度行うことは無駄なことではないと思う。

委員長：もう一つ提案した防犯対策についてはどうか。子どもへの犯罪については地方においても起きている。どのような対策を行っているのかを調査してみることも一つであり、調査することは幅広くあると思う。町の防犯への取り組みについて担当課などからの話を聞いて調査してみてもどうか。住民への一番身近な問題でもあるだろう。福祉のことは多く行っているが、過去にもこういった調査をしたことはなかったのでは。

原委員：防犯対策については町民生活課が担当になると思うが、それでは生活安全対策委員会や交通安全協会だけへの話だけで終わってしまうだろう。出てくる答えは決まっているのではないか。町民生活課へ聞くだけなら広がりはないのではないか。年末の防犯パトロール位しかやってないだろう。他の委員がどう考えているか聞いてみてほしい。

安田委員：一番先に原委員が言った福祉課のことだけでいいと思う。防犯や除雪は議員個々の対応でできる。所管事務でやるならば街灯を見たりするなら夜にみんなで見て歩かなければならないので所管事務調査としては原委員の言う項目だけでよい。

西山委員：地域包括支援センターの所管事務調査がいい。皆さんが言うのはよくわかるが、時間がかかってスムーズにいかないと思うので、消防の跡地や高齢者住宅のこれからのことを一緒にやったらいいと思う。

原委員：私の提案を受け入れてくれた形になっているが、地域包括支援センターと言った理由は、一連の一般質問を含めてこれから年寄りが増えたり減ったりとあるが、原則としてはこの10年は年寄りが増えてくることに間違いはない。単身や年寄り世帯が増えてくる。これ以上ベット数が増えてくると介護保険料が増えてくることも心配の一つだ。地域包括支援センターの中に総合支援など4つほどの項目があり、担当課では少ない人数で対応をしているがために一人世帯の状況などはわからないシステムになっている。施設だけでなく職員採用を増やす面も必要だ。そういうことがあって提案していることを理解してもらいたい。

佐藤委員：冬道については個人的にも周りから言われている。しかしそれは担当課に行って解決はしている。今日も砂まきの話などがあったが個々に対応はできている。私は原委員の言う施設についての調査に賛成する。

委員長：今回の所管事務調査については地域包括支援センターの現状と課題ということで原委員から提案があったのでそれ1本で行うことでよろしいか。

(はいの声あり)

委員長：その他に何かあるか。

(なしの声あり)

委員長：できればこれからの調査についても先に考えていただければと思うのでよろしく願いする。

西山委員：时期的なものは委員長と事務局に任せる。

委員長：わかりました。以上で産業厚生常任委員会を終了する。

【終了15:01】